

希望・努力・理想

令和5年7月13日 第10号 文責：岩崎 幸彦

ハンギングバスケット



～完成！&飾り付けました！～



宇部第一環境保全会（沢里清幸会長）による「国道を花で飾る運動」“ハンギングバスケット”の制作と設置が7月9日（日）に宇部市民センターを中心に行われました。

雨が心配された中ではあったものの天候に恵まれ、近年では最多の地域住民が13名、生徒17名とPTA8名の総勢38名が大沢園芸様のご指導のもと、スムーズな制作を進めることができました。





制作したハンギングバスケットは事前に許可して頂いた45号線沿いに速やかに設置させていただき、華やかな道となりました。

多くの方のご協力によって完成したハンギングバスケットです。機会がありましたら飾られている作品を見ていただければと思います。

授業参観週間

7月3日(月)からの一週間、残念ながら地域の方のご来校はありませんでしたが、8名の保護者の方々にお越し頂き、生徒の様子をご覧いただきました。秋にも授業参観を予定しておりますので、多くの方のご来校をお待ちしています。

一日保護司 (デーリー東北の記事から)

社会を明るくする運動強調月間(7月)に合わせ、久慈地区保護司会(末崎順一会長)の啓発活動が3日、久慈市役所で行われた。中学生への「一日保護司」委嘱などを通じて犯罪・非行防止、立ち直りを支える地域づくりの大切さをアピールした。

同保護司会は、例年の啓発活動で市内各中学校の生徒に一日保護司を委嘱しており、今回は市立宇部中の生徒に委嘱した。

啓発活動では、末崎会長が中野愛子さん(3年)ら生徒5人に委嘱状を手渡した。中野さんは「社会の生きづらさに寄り添い、支え合うコミュニティーづくりが安全、安心な明るい社会の実現につながる」と、内閣総理大臣メッセージを遠藤譲一市長に伝達した。

この後、生徒5人が学校生活や学校統合問題などについて、遠藤市長らと意見交換した。



久慈地区合唱交流会

7月12日(水)に久慈地区にある13校の中学校がアンバーホールに集まり、互いの合唱を披露する久慈地区合唱交流会が開かれました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響から急きょ中止となってしまいましたが、今年度は宇部中生の素晴らしい歌声をホールに響かせてことができました。絶賛を頂いた講評を掲載します。ぜひご覧ください。



伴奏、柔らかくとても丁寧でいいですね。出だし、よくそろっています。響きもよくそろっていてユニゾンきれいです。男声主旋律もすてきです。音色、響きの統一感good! パートのかげ合い、バランスもいいね。ソプラノ、アルトの音色、質感に統一感があり、ハーモニーが美しいです。素晴らしい! 歌詞もとても丁寧に歌えています。並び方もそろっていてきれいです。参加生徒数以上のパワーを感じる素敵な合唱でした! ありがとうございます!